

『まなびあい』第17号をお読みになった方へ

『まなびあい』第17号 研究実践奨励賞推薦のお願い

コミュニティ福祉学会事務局

コミュニティ福祉学会では、『まなびあい』掲載論稿のうち、優れた論稿や価値ある実践活動に「研究実践奨励賞」を設け、表彰致します。受賞作選考は学会内に設置される選考委員会において行いますが、読者の方々のご意見を取り入れるため、推薦書を募集しております。今回お配りしました『まなびあい』第17号を読んで応援したい、多くの人に読んでもらいたいと思った論稿を一編選び、その理由とともに、「まなびあい第17号 研究実践奨励賞推薦書」(次頁)にご記入の上、立教大学コミュニティ福祉学会事務局にメールにてご提出ください。推薦書はコミュニティ福祉学部HP (<https://chs.rikkyo.ac.jp/>) にも掲載しています。今回の審査対象原稿は以下7編です。皆様のご意見を広く反映致したく、ご協力をお願い致します。

(論稿番号)

- | | |
|---------|---|
| ① イ・ヘリン | 「『社会的自立』を実現する韓国の地域自活センター
—ソウル市の地域自活センターが取り組む「連帯づくり」に着目して—」 |
| ② 鶴岡 美怜 | 「“地獄”と呼んだそのときに“筆”をとった人々の記録
—長崎でのゼミ合宿を通して—」 |
| ③ 村中 志帆 | 「『特権』に対する無自覚と傲慢さ」 |
| ④ 山口 美紀 | 「いま、あなたに伝えたい平和の尊さ—長崎ゼミ合宿を通して—」 |
| ⑤ 西郷 民紗 | 「Tarja Poso, Marit Skivenes and June Thoburn 編著 Adoption from Care」 |
| ⑥ 山下 陽子 | 「ふじみ町みんなのおうち〜2020年からの軌跡〜」 |
| ⑦ 森開 裕一 | 「能登地震の「創造的復興」について考える」 |

提出先：立教大学コミュニティ福祉学会事務局 cchs@rikkyo.ac.jp Tel: 048-471-7308

〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26 立教大学コミュニティ福祉研究所内(5号館3階)

提出期限：2025年5月7日(水)

『まなびあい』第17号 研究実践奨励賞推薦書

氏名

学籍番号(立大生)または所属

以下の項目にチェックをお願いいたします。

推薦論稿

- ☐ イ・ヘリン 「社会的自立」を実現する韓国の地域自活センター
—ソウル市の地域自活センターが取り組む「連帯づくり」に着目して—
- ☐ 鶴岡 美怜 「“地獄”と呼んだそのときに“筆”をとった人々の記録
—長崎でのゼミ合宿を通して—
- ☐ 村中 志帆 「「特権」に対する無自覚と傲慢さ」
- ☐ 山口 美紀 「いま、あなたに伝えたい平和の尊さ—長崎ゼミ合宿を通して—」
- ☐ 西郷 民紗 「Tarja Poso, Marit Skivenes and June Thoburn 編著
Adoption from Care」
- ☐ 山下 陽子 「ふじみ町みんなのおうち～2020年からの軌跡～」
- ☐ 森開 裕一 「能登地震の「創造的復興」について考える」

推薦理由 ※複数チェック可

- ☐ テーマが良い ☐ 文章力が良い ☐ 論点が良い ☐ 表現力が良い
- ☐ 考察が良い ☐ 意見に賛同 ☐ 構成が良い ☐ まとめが良い
- ☐ 読んで元気が出た ☐ 自分も一緒にやってみてみたいと思った
- ☐ 内容の視点／発想がユニークで読んで面白かった ☐ 内容に感動／共感を持てた

その他の場合は推薦ポイントをお書きください。また、推薦理由をより詳しくお書きください。推薦理由は審査において重要な参考資料となります。
